

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	8	0	0	0	個室にというわけではなく、利用者様が全体を見ながら落ち着けるスペースを1画に設定している。 集まりなど活動に応じてパーティションの取り外しを行う等の工夫を行っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	8	0	0	0	スタッフに余裕のあるときにはヘルプ要請を行っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	0	可動パーティションで、使用目的に合わせて適宜部屋を区切れる。 個々の利用者が活動にスムーズに移行できるよう視覚、聴覚支援等を用いている。 休憩スペース、遊びスペース、課題スペースと用途ごとにマットなど使用し視覚的に分かりやすく区切っている。 スロープやエレベーターがついている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8	0	0	0	PDCAを毎日記入している
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	0	毎週火曜日に部署ミーティングを行い、職員間で意見を出し合っている。 部署ミーティングや全体ミーティングなど意見交換の場を定期的に設けている。
	6 この自己評価を結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	8	0	0	0	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	0	0	日々の振り返りや、部署ごとの定例ミーティングを行っている。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	0	毎週オンライン全体ミーティングで研修の機会を設けている。 研修に重点を置いている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	1	0	部署部署会議を定期的に開いている
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	1	0	絵カード等の導入をしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	0	スタッフ間で相談し一週間ごとに活動内容を変え発達に合わせている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	0	その時時に合った催し物や課題を準備し、利用者様が意欲的に参加できる環境を設定している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	1	0	長期休みにはイベント的な活動を取り入れたり、季節の行事にちなんだ活動を取り入れ、固定化しないようにしている。 長期休み時には午前と午後で活動を分けたりと工夫をしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	0	
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	1	0	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	0	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	0	保護者との連絡ツールとしてのキッズノートを各々確認し、日々の様態を把握しスタッフ間で対応の統一に努めている。対応するスタッフによって個々への支援がバラバラにならないように都度、確認をしている。	
18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	0	計画書の見直しやモニタリング時に個々の児童のついで意見をスタッフ間で出し合っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7	0	1	0		
関係 機関 や 保護 者 との	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	0	
	21 下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	0	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	0	6	0	医療ケア児は受け入れていない。何かあった時、共通認識の確認のため学校と連絡をとっている。 医ケア児は受け入れていない。事業所相談を定期的に行っている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	0	0	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
連携関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	0	1	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	3	0	相談員との連携を取り利用児童の情報を伝え合っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	7	0	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	2	0	地域や放課後児童クラブとの交流機会が少ない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	0	キッズノートや、送迎時に直接保護者の方と、利用者様の情報を共有している。 キッズノート等でその日の様子を記載したり、迎えに来られた保護者にはその場で様子を伝えあっている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	0	7	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	0	初回十分な時間を取って詳しく説明を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	0	6	0	会報はないが、キッズノートのお知らせ機能を利用し、定期的に日々の療育の様子を発信している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	1	0	伝わりにくい内容ではアプリ等ではなく直接電話や送迎時などで直接伝えるようにしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	0	キッズノートに写真を加え、口頭でも説明している。 お迎え等で直接お会いできる保護者にはその場で、お会いできない保護者には電話等で説明している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	6	0		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0	1	0	活動や遊びの中で避難訓練を想定する活動を取り入れたり活動にて災害について教材を用いて伝えている。定期的に全体での避難訓練を実施している。 非常時の動線の配備やマニュアルを整備している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	1	0	防災委員会を定期的に開催し、全体に共有している。 定期的に避難訓練を行い、非常時に備えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	1	0	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	0		

スタッフ数	8
回収率	100%